

## がん対策部会の開催状況について（開催日：令和5年8月30日）

1. 出席者等	<p>丹羽 康正部会長 始め 16 名          県がんセンター 総長、県がんセンター研究所、県がん診療連携協議会、名古屋大学大学院、藤田医科大学、県がんセンター看護師、県医師会、県歯科医師会、県薬剤師会、愛知県町村会、保健所、愛知労働局、AYA 世代がん患者代表、特定非営利活動法人ミーネット、県中小企業団体中央会、県小中学校長会（順不同）</p>
2. 議題及び 主な意見	<p><b>(1) 第3期愛知県がん対策推進計画の取組の最終評価について</b>          ・全体目標の「年齢調整死亡率の減少」と「がん患者の自宅における死亡割合の増加」は、目標を達成した。          ・全 34 指標のうち、目標達成率 100%以上のものは 5 つ、目標達成率 50%以上 100%未満のものは 7 つ、目標達成率 10%以上 50%未満のものは 9 つ、目標達成率△10%以上 10%未満のものは 6 つ、目標達成率△10%未満のものは 7 つであった。          [主な意見]          ①「全体目標」の「年齢調整死亡率の減少」について、高齢化に伴いがんになる人も高齢化していくため、75 歳未満の年齢調整死亡率は自ずと低く推移していくが、目標数値の考え方の確認と次期計画では検討の上設定されたい。          ②「全体目標」の「がん患者の自宅における死亡割合の増加」について、自宅での治療イコール自宅での死ではないので、第 4 期計画ではこの指標は見直すべきではないか。          ③「個別目標」の「成人の喫煙率の低減」の数値について、加熱式たばこを禁煙と考えている方がいるので加熱式たばこ喫煙者数も把握したほうがいい。          ④「個別目標」の「がん検診受診率の向上」について、実績は職域のがん検診の方が入っていない数値だが、目標には職域分も含まれており、目標数値として適当なのか疑問に思う。          ⑤「個別目標」の「がん教育の推進」について、「がん教育の外部講師の活用」を第 4 期計画では推進していただきたい。</p> <p><b>(2) 第4期愛知県がん対策推進計画の骨子（案）について</b>          ・骨子（案）は、国の第 4 期愛知県がん対策推進基本計画の構成を基本としながら、第 3 期計画に国の主な見直しポイントを反映した。          [主な意見]          ①「主要数値目標」に「がんの 5 年生存率（ネット・サバイバル）の増加」とあるが、病院単位で生存率を比較することが目的であれば、「個別目標」の「自施設で肺がん、胃がん、肝がん、大腸がん及び乳がんの 5 年相対生存率を公表するがん診療連携拠点病院等の割合の増加」は「実測生存率」の方が適当ではないか。</p> <p><b>(3) 第4期愛知県がん対策推進計画の指標（案）について</b>          ・主要数値目標（案）は、「がんの年齢調整死亡率の減少」、「がんの年齢調整罹患率の減少」、「がんの 5 年生存率の増加」及び「現在自分らしい日常生活を送れていると感じるがん患者の割合の増加」を設定した。          ・指標（案）は、38 指標とした。          [主な意見]          ①「主要数値目標」の「現在自分らしい日常生活を送れていると感じるがん患者の割合」と、「分野別個別目標」の「共生」分野の「心のつらさがある時に、すぐに医療スタッフに相談できると感じている患者の割合」の目標値は、実現困難であったとしても県として目標を「100%」と掲げるべきではないか。          ②「分野別個別目標」の「これらを支える基盤」に、「がん登録の利用件数」を入れてはどうか。</p>
3. 計画策定に関する考え方	<p>・各委員からの意見を参考に骨子・指標を検討し、計画素案を作成する。</p>